

福島第一原子力発電所構内道路脇の側溝付近からの発煙について (17時現在)

< 参考資料 >
平成27年3月30日
東京電力株式会社

1. 事象概要

発生日時 : 平成27年3月29日(日) 午後8時35分頃

発生場所 : 福島第一原子力発電所構内道路脇の側溝付近

発見者 : 当社社員

主な時系列:

3/29 20:05頃 5, 6号機にある起動用変圧器にて地絡警報が発生(※)

20:35頃 免震重要棟から西側へ向かう道路脇の側溝付近において、側溝内から煙が出ているとの連絡が緊急時対策本部に入る

20:39 双葉消防本部へ連絡

20:41 発電所構内の水処理建屋(発電所構内で使用するろ過水を作るための建屋)へ供給している電源の遮断器を開放したところ地絡警報は解除()

20:43 火元確認のため、当社社員が現場へ出向

20:46 自衛消防隊に対して現場への出動を要請

20:55 初期消火隊6名現場へ出動

20:57 パトロール中の当社社員(防護本部)2名により、消火器で初期消火開始(消火器1本)

21:01 火元確認者が現場到着、側溝上に敷いてある鉄板の隙間から発煙を確認

21:26 現場発煙なしを確認

21:29 双葉警察署が2名到着

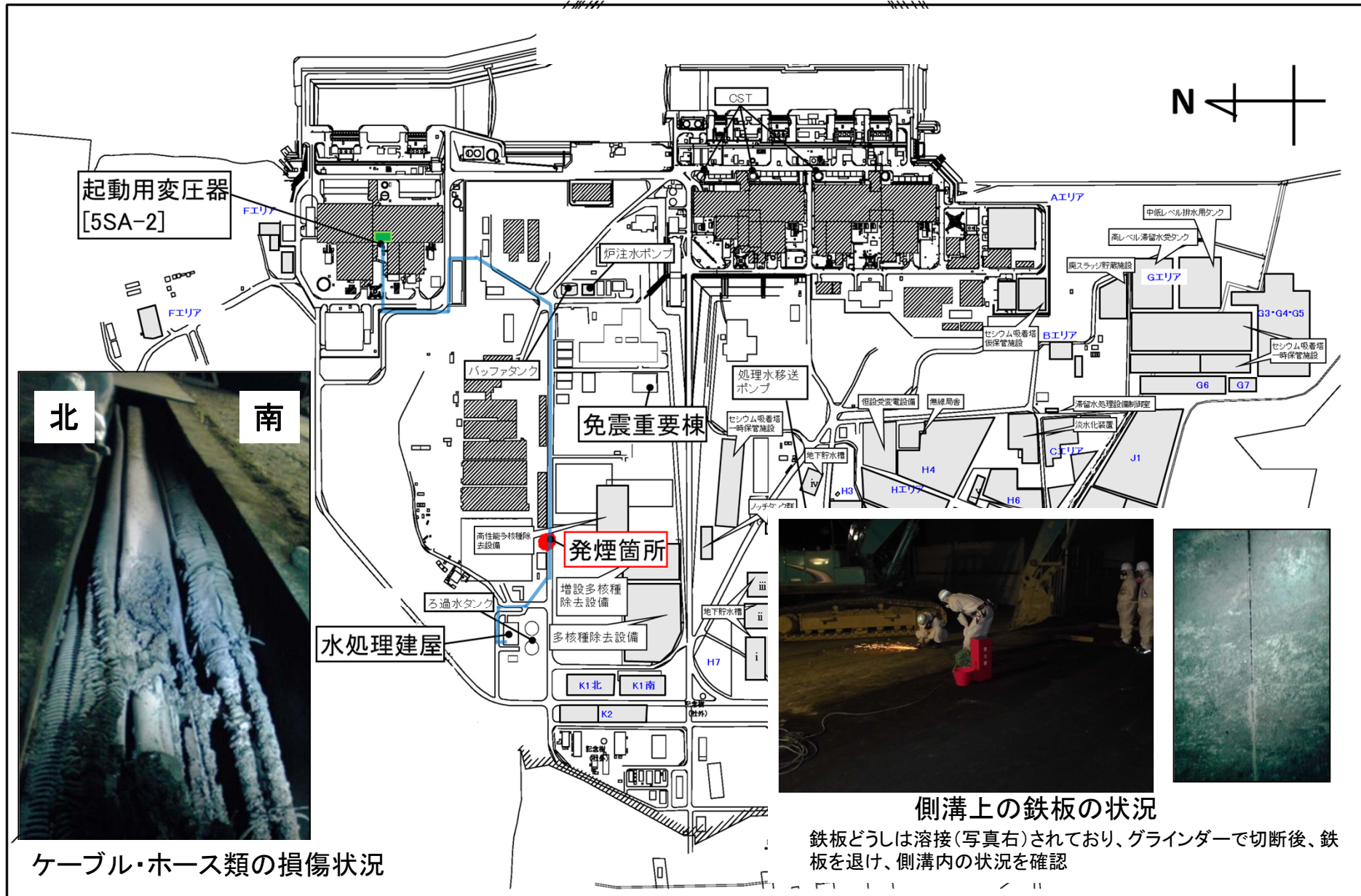
21:45 公設消防が2名到着、公設消防による現場確認においても発煙がないことを確認

3/30 0:40頃 側溝上に敷いてある鉄板を退けた上で側溝内を確認したところ、側溝内を通っている複数のケーブル・ホース類が約5mの範囲で損傷していることを確認

(※)地絡警報は、水処理メタクラ(M/C)(A系)用電源ケーブルが損傷したことにより発生したものと推定。また、発煙発生メカニズムについては、現在調査中。

2. 現場状況

— 水処理M/C(A)系電源ケーブル



ケーブル・ホース類の損傷状況



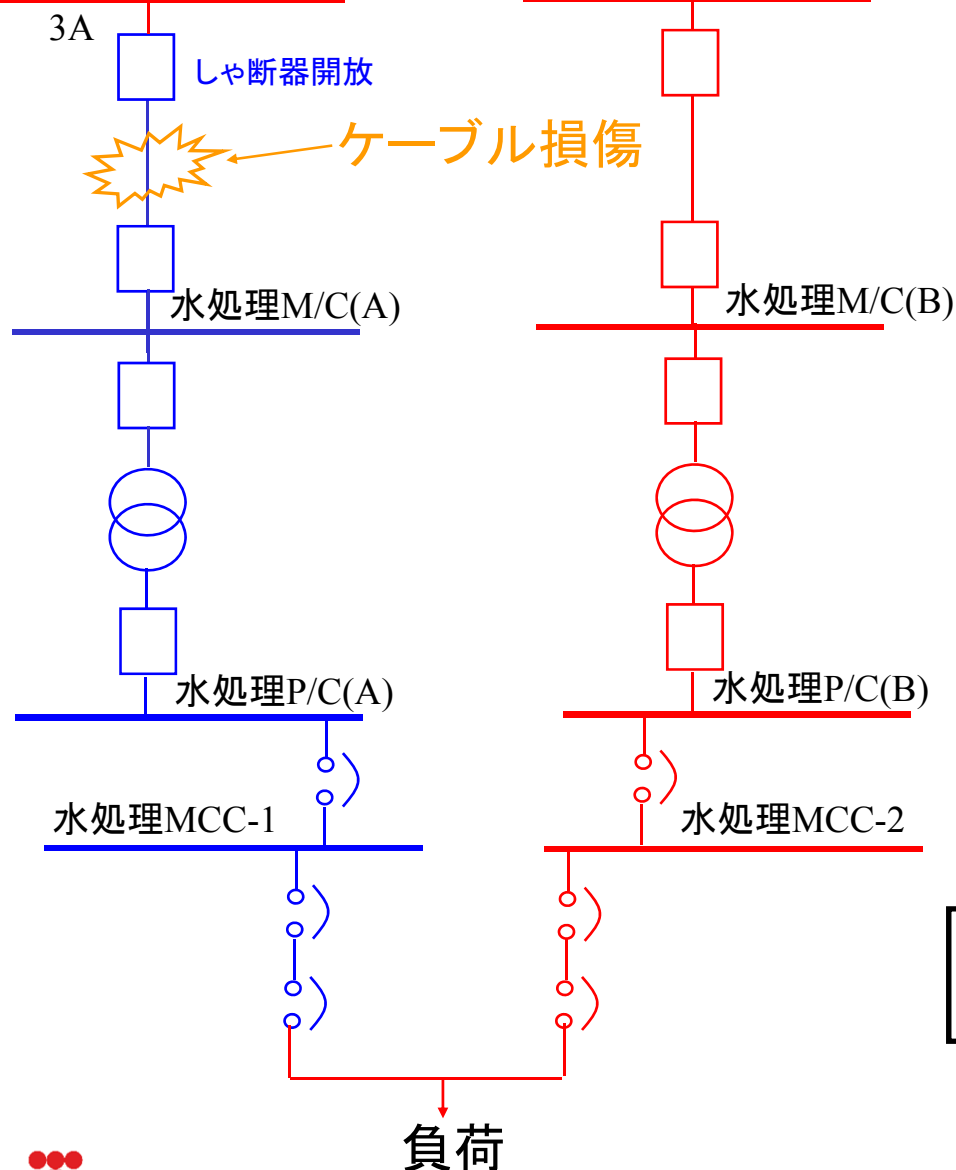
側溝上の鉄板の状況

鉄板どうしは溶接(写真右)されており、グラインダーで切断後、鉄板を退け、側溝内の状況を確認

3. ケーブル損傷箇所(電源構成)

起動用変圧器M/C5SA-2

所内共通M/C1B



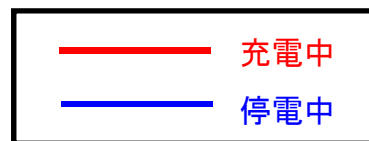
水処理M/C(A)系ケーブル損傷

↓
地絡警報

↓
電源OFF実施

↓
現在、A系からB系に電源切替を実施し、
水処理建屋の設備を使用できる状況と
なっている。

また、5・6号機の負荷に影響はない。



4. ケーブル・ホースの敷設状況



- ① < 損傷のあったケーブル >
 - ① 水処理M/C(A)系ケーブル: 地絡警報
→ 電源OFF実施
 - ② No.1,2純水補給弁(MO弁): MCCトリップ
→ 電源OFF実施
 - ③
 - No.1純水タンクレベル計: 正常
→ 念のため電源OFF実施
 - No.2純水タンクレベル計: ダウンスケール
→ 念のため電源OFF実施
- ④ < 損傷のあったホース >
 - ④ 使用済燃料プール補給用ホース(非常用2本)
 - ⑤ 原子炉注水用ホース
(非常系のラインは確保されておりLCO逸脱には該当せずと判断)
 - ⑥ ろ過水タンクから物揚場の仮設プールに水を移送し、消防用ポンプ車を使用して原子炉注水用として使用(2本)
(現在は未使用で撤去予定)
 - ⑦ パージ船からろ過水タンクへの移送ホース
(現在は未使用で撤去予定)

⑤は④の下部

(損傷部より海側箇所・平成27年3月29日撮影)